

令和2・3年度 熊本県教育委員会指定 八代市教育委員会委嘱  
「熊本の学び」研究指定校 学力向上プロジェクト研究

## 八代市立第一中学校 公開授業

### 研究主題

『学びに向かう力』を備えた子供の育成  
～学びの質を高める授業づくりを通して～



### 学校教育目標

一人一人が尊重され、みんなで響き合う学校

スローガン 「夢実現」～笑顔と感動と一中プライド～

### 目指す生徒像

夢の実現に向かってともに学び合う 心豊かでたくましい生徒

### 重点的に育成を目指す資質・能力

自己を表現する力 学びに向かう力 自立に向かう力

# 研究の構想

学力向上プロジェクトにおける目指す生徒像  
主体的に学び ともに学び合いながら 自己の向上を目指す生徒

重点的に育成を目指す資質・能力（「学びに向かう力」の面から）

## 学びに向かう力

課題を見つけ、解決に向かって取り組む

自ら取り組む力

疑問や課題に対して予想し、道筋を立てる

見通す力

いかす力

学んだことを新たな学びにつなげる

粘り強く取り組む力

試行錯誤しながら解決に向けて取り組む

研究主題

『学びに向かう力』を備えた子供の育成  
～学びの質を高める授業づくりを通して～

### ●学びの質が高まった授業

- ①子供の問いを引き出し、子供が単元を通してワクワクしながら意欲的に学びに向かう授業
- ②子供が「見方・考え方」を働かせることを通して、深い学びにつなげることができる授業
- ③教師の積極的なコーディネートにより子供が学び合うよさを実感している授業
- ④単元・題材で身に付けた資質・能力を子供が次の学習や実生活に生かすことができる授業

### ●学びの質を高める授業に向け教師が意識すること

- ①子供がなぜ、おそらくなどの疑問や予想を持つ導入ができているか（視点① 導入の工夫）
- ②これまでの学びを生かし、子供が持っている各教科の見方や考え方を働かせることができるか（視点② 既存の知識・技能の活用）
- ③自分や他者との対話によって、自分の考えを広げたり、深めたりできるように工夫しているか（視点③ 対話的な学び）
- ④まとめや振り返りの中で、本時で身に付けた力を実感できているか（視点④ 学びの実感）

本校生徒の課題

学びへの意欲、挑戦する意欲、自ら取り組む力、自分の考えを伝える力

# 研 究 組 織

校長

研究推進委員会

## 「豊かな心」育成部会

- 議論する道德の時間
- 心にしみる命の教育
- 自己有用感を育む集団づくり

## 「確かな学力」育成部会

- 基礎基本の確実な定着
- 対話的な学びの充実
- 学びのUD化とICTの効果的な活用

## 「健やかな体」育成部会

- 基本的な生活習慣の定着
- 安全教育、安全管理の徹底
- 健康教育、食育の推進

## 信頼される学校づくり部会

- 学習環境の整備
- 六校園(幼・小・中)との連携
- 保護者、地域との連携

### 【主題設定の理由】

- 令和3年度(2021年度)から全面実施となる中学校学習指導要領では、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養が求められている。特に、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶのか」が示され、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が求められている。
- 県学力・学習状況調査の結果において、「学びへの意欲」や「自ら取り組む力」、「自分の考えを伝える力」に課題があり、知識及び技能の習得はもとより、「学びに向かう力」を育てることが喫緊の課題である。
- 支持的風土のある学習集団づくりを基盤としながら、主体的な学びに焦点化し、以下の4つの視点を意識して「学びの質を高める」授業づくりを目指すこととした。

子供が 「問いを持つ」(視点① 導入の工夫)  
「各教科の『見方・考え方』を働かせる」(視点② 既存の知識・技能の活用)  
「自分や他者との対話によって学びを深める」(視点③ 対話的な学び)  
「学びを今後に生かす」(視点④ 学びの実感)

### 【研究仮説】

- 学びを生かそうとする姿が生まれる単元デザイン、疑問や予想が生まれる導入の工夫、対話的な学びによる協働的な学習の工夫、学びを深める練り上げや振り返りを意識した「熊本の学び」に基づく授業を展開することで、子供の「学びに向かう力」が高まるだろう。
- 日常の授業や学級活動、生徒会活動を通して、「支持的風土のある学習集団づくり」を行えば、生徒の自己有用感が高まり、子供の「学びに向かう力」が高まるだろう。

### 【研究の視点】

- 「熊本の学び」に基づく、学びの質を高める授業改善
- I 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
  - II 生徒の自己有用感を高める活動の充実

# 学びの質を高める授業づくり

## I 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

### (1) 単元デザインの工夫

#### 【 単元終了後の生徒の姿の例 】

- 友達に、世界の国々について伝えるために、相手に配慮しながら事実を整理し意欲的に伝え合う生徒。(3年英語)
- 相似についての基本的な理解を深めるとともに、理解した内容や身に付けた知識を利用し、実際に計測することが難しい高さや距離などを計算によって求めることができる生徒。(3年数学)
- 郷土の作家である浜田知明の作品に興味を持ち、鑑賞するとき、周囲の多様な見方、感じ方、考え方に触れながらこれからの時代や社会を生き抜く上での自分なりの考え、感性を育もうとする生徒。(3年美術)
- 地震についての基本的な理解を深めるとともに、将来発生するであろう地震の姿を科学的根拠を持ちながら予測し、それに対して適切な予防策をあらかじめ立てることができる生徒。(2年理科)

学習指導要領に示された内容に基づく単元の目標、単元の評価規準をもとに子供の実態を踏まえ、単元のゴールの姿を設定する。次の単元の学習や実生活に生かそうとする姿を示す。

#### 単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）

読書をするときに、人の生き方、社会に対する自分の考えを持ちながら作品を読み、作品を通して自分の考えをまとめたり対話したりして学んだことを、自己の向上に役立てようとする生徒。

単元を通した学習課題	本単元で働かせる見方・考え方
描写をもとに、登場人物の人と人との関りや社会に対するものの見方・考え方をつかんで、自分自身につなげよう。	描写をもとに、登場人物の心情を探りながら、「私」の『故郷』に対するものの見方・考え方に着目して、自分の考えを明確に持ち自分の考えと比べたり、他者の考えから広げたり深めたりして言葉への自覚を高めること。

設定した単元のゴールに迫るために、日常生活や社会生活との関連や子供の資質能力を育成するための学習活動を意識した課題設定にする。

学習指導要領に示された内容に基づき、単元で働かせる見方・考え方を具体的に表現する。

#### 【 単元を通した学習課題の例 】

- いろいろな国について知るために、世界の国々についての4ヒントクイズを作り、クイズ大会で発表し、質問しよう。(3年英語)
- 体育館の天井の高さを、相似を使って求めよう。(3年数学)
- 戦争体験をした人の気持ちをイメージしながら、作品に込められた作者の思いを推測して読み解こう。(3年美術)
- いつかくるかもしれない八代地震(仮称)に備えよう。(2年理科)

## (2) 対話的な学びによる協働的な学習の工夫



推測した作者の思いを出し合い、共有する。互いの感じ方の違いを実感する。(3年美術)



班で選んだ国の情報を地図帳で確認し、班で協力し、4ヒントクイズの作成を行う。(3年英語)

学習課題に対して、各教科の見方・考え方を働かせてさまざまな視点から物事を考えたり、協力して取り組んだりすることで対話の必要性や学び合いの良さを実感しながら学習活動に取り組みます。

## (3) 練り上げと振り返りの工夫



相似比を使い、実際に計測した数値から体育館の高さを推測し求める方法について共有する。(3年数学)

学習を振り返り、自分が理解できたことや学んだことと日常生活とのつながり、疑問などを自分の言葉で整理して、次の学習につなげる。(3年理科)

振り返り  
身の学習では、台風、大雪被害、地震などの発生原因やそれによる被害などがとても勉強になりました。そこで、日本の地形や場所が、その発生の条件になっているところもあることを学びました。家庭学習では、調べたことや疑問を整理して、自分で興味を持ったことについて家庭学習で調べてみよう

学び合いの中で出た意見を全体で交流し、よりよいものに練り上げていく活動や学習課題に対する「まとめ」とめあてに対する「振り返り」を通して、学びを自分のものにできるように深めていきます。

## (4) 授業の焦点化・視覚化・共有化の工夫



導入場面で動画資料を活用し、本時の学習で取り組む内容について見通しを持つ。(3年社会)



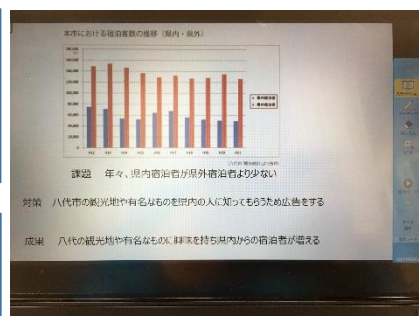
班の意見を整理しながら、各班の意見を視覚化するためにホワイトボードを活用する。(3年社会)

授業の導入時に本時の学習内容について焦点化するための資料を提示したり、それぞれの場面に応じて視覚化や共有化を図るためにホワイトボードを活用したりして、学習のポイントを明確にし、学習内容の定着を図ります。

## (5) ICTの効果的な活用



電子黒板を活用し、グラフから読み取れることや考えたことを説明する。  
(1年数学)



資料を貼り付け、班で話し合ったことをタブレット端末に入力し共有する。  
(3年社会)

デジタル教科書や教師自作のスライド資料を電子黒板で提示する。また、生徒がタブレット端末に入力したものを授業支援システムによって全体表示して、班の意見を比較したり共有したりして、生徒の学習意欲を高めるとともに学習内容の定着を図ります。

## Ⅱ 生徒の自己有用感を高める活動の充実

### (1) 学びを支える学習環境づくり



身に付けたい力や生徒達の学習の様子を掲示し、育みたい力についての意識を高める。



放課後など生徒が先生に質問するための場所を確保し、気軽に学べるようにする。

学習環境を整えるために、学年ごとの掲示板を設け、学年の取組や生徒の頑張りを紹介する取組や重点的に育成を目指す資質・能力を掲示して、学びに向かう力を意識する取組を行いました。

### (2) 生徒の主体的な学び



テスト前の放課後に生徒会が主催する自習室を開放し、各自のペースで学習を進めます。



OBの先生方、3年部職員を中心に学びをサポートする「なるほど学習会」を行っています。

3年生を対象とした「なるほど学習会」や生徒会主催の「放課後自習室」の取組を行い、分からないところを質問したり、教え合いをしたりすることで学習に主体的に取り組む姿が見られました。

### (3) 生徒の主体性を引き出す学級活動



学級会では、自分の意見をワークシートに記入し、発表します。

すごろくトークなど一人一人が活躍できる班活動を行います。



班で、週直に取り組んだり日頃の学習に取り組んだりしています。また、定期的に学級会を行うことで、各生徒がクラスの現状を改善するために主体的に行動できるようにしています。

### (4) 自ら気づき・考え・実践する生徒会活動



生徒朝会を生徒会で企画運営し、委員会の発表や全校生徒への呼びかけを行います。

毎月の生徒会や各委員会の活動テーマを掲示し、全生徒で共有し、活動に取り組みます。



生徒会執行部＋15の委員会で生徒会活動に取り組んでいます。毎月、各委員会で活動計画を立案し、生徒会体で共有した上で、各委員会で取り組んでいます。昨年度から定期的に生徒会主体の生徒朝会を行っています。また、今年度は、テスト前に学び合いの場（自習室）を設置し、学力向上に努めています。

### (5) 学び方を学ぶ小中連携と家庭との連携



小中合同の朝のあいさつ運動に自主的に参加し、活気あるあいさつを行っています。

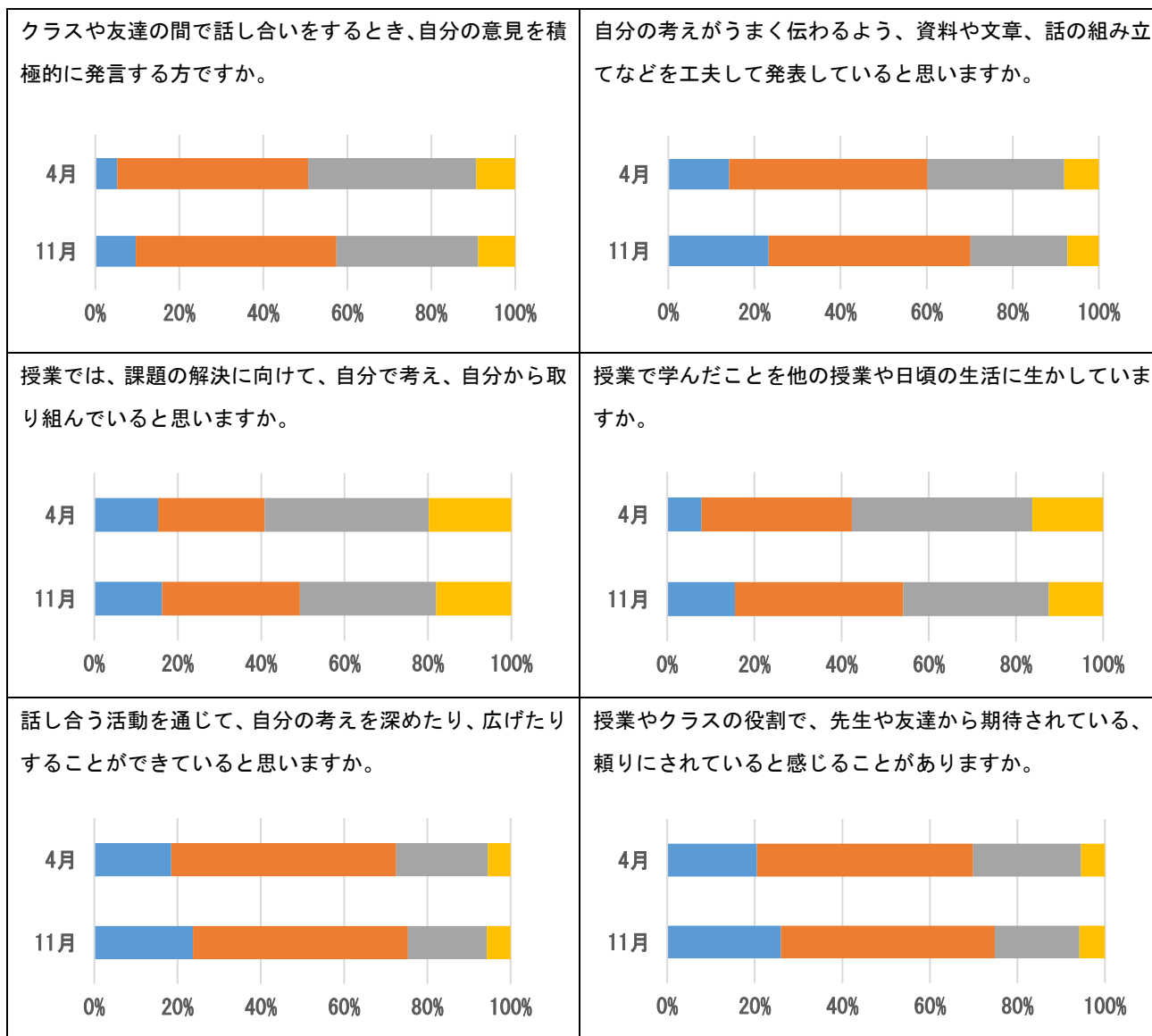
生徒総会で採択された SNS 宣言文に我が家のルールを加え、意識して行動できるようにしています。

一中 SNS 宣言（道標に貼しましょう）

- 個人情報や悪口、不適切な言葉を使わない  
写真や個人情報は原則のせない    発言には責任を持つ
- 情報を見極める  
情報をうのみにせず、冷静に考える    判断に困ったときは大人に相談する
- 家庭のルールを決める  
1日の利用時間と終了時間を決めて使う  
フィルタリングをつけて利用する  
 我が家のルール

一中校区の6つの幼・小・中で連携を図る六校園を開催し、小学校と合同であいさつ運動を行ったり、系統性を持たせた人権学習を計画したりしています。また、家庭との連携では健康カレンダーで生活リズムを見つめ直したり、一中 SNS 宣言で我が家のルールを決めたりして家庭との連携を図っています。

# 「学びのアンケート」から見た研究の検証



よく    まあまあ    あまり    まったく

## 研究成果と今後の方向性

これまで、研究テーマ「『学びに向かう力』を備えた子供の育成」のもと、チーム一中として共通実践してきた。授業や活動の中では、自分自身の役割を自覚したり自分自身のよさに気付く場面が増えたりして、自己肯定感の向上が見られるようになってきた。また、ペア活動や班活動を積極的に取り入れることで、教え合いや伝え合い、学び合いの機会が増え、その中で自ら課題解決に向けて取り組む姿勢も見られるようになってきた。自分の考えをよりよく伝えようとする生徒も増えつつあり、考えの拡充や深化にもつながってきていると考えられる。

しかしながら、話し合いの中で積極的に発言したり工夫して発表したりしている生徒は半数程度であり、対話的な学びによる協働的な学習については十分とは言えない。このため、根拠を持って自分の考えを伝え合い、振り返る活動などを通して学びを深めていくことが重要であると考えられる。

今後、これまでの取組をもとに、実践をより確かなものとするために、学校総体として「学びの質を高める授業づくり」をより具体化していきたい。